

ひょうご部落解放・人権研究所

## HB 通信

Hyogo Buraku Liberation and Human Rights Research Institute

編集・発行 /

社団法人 ひょうご部落解放・人権研究所

〒650-0022

神戸市中央区元町通 6-7-10

元町関西ビル 4階

TEL:078-367-8925 FAX:078-367-8924

e-mail:blrhyg@osk3.3web.ne.jp

URL:http://www3.osk.3web.ne.jp/~blrhyg/

2009 年度人権問題講座

「子どもの生きる力」  
—釜ヶ崎「こどもの里」の活動から—

講師：荘保共子（大阪・釜ヶ崎 カトリック大阪大司教区「こどもの里」館長）

日雇い労働者のまちとして知られる大阪・釜ヶ崎。このまちの真ん中に「こどもの里」があります。昨今の経済不安や貧困層の増大から、ここに住む多くの人々の生活が深刻さを増していることは、想像に難くありません。保護者の経済的不安や病気、離婚、さらには父親の暴力や性虐待、育児放棄など、さまざまな事情をもつ子どもたち。「こどもの里」は、そんな子どもたちが「自由で健全に遊べる場を」との思いから、1978年「子どもの広場」として始まりました。現在も0歳児から高校生くらいまで、幅広い年齢の子どもたちが集います。なかには一時的に生活している子どももいるとのこと。

成長段階に虐待など、外からの圧力で自尊心を奪われ、傷つけられた子どもたち。荘保さんは「子どもは本来いろんな力を持っている存在であると信じ、子どもたちの自尊感情を取りもどしていくのをサポートすることが大切」と語ります。

今回の人権問題講座では、そんな「こどもの里」の活動から、釜ヶ崎という地域が抱えるさまざまな生活の問題と、その影響を直に受けざるを得ない子どもたち、そして、たとえ最悪の状況にあっても、親との絆を求め、強く生きる子どもたちの姿をご紹介いただき、「地域のなかで子どもを支える」こととは何かを、ともに考えたいと思います。

たくさんの方のご参加をお待ちしております。

○日時：2009年6月27日（土）

午後2：00～4：00

○参加費：無料

どなたでもご自由にご参加ください！

○お問合せ：（社）ひょうご部落解放・人権研究所

TEL：078-367-8925

E-mail:blrhyg@osk3.3web.ne.jp

○会場：兵庫県私学会館

神戸市中央区北長狭通

4丁目3-13

TEL：078-331-6623



● JR・阪神元町駅東口から徒歩2分

● 神戸市営地下鉄元町前駅から徒歩3分

## 新着図書

12月

○『大学院教育における「人権プログラム」の意義—カーティン工科大学院を例に』（『兵庫県立大学環境人間学部 研究報告』第10号別刷、2008.3）（阿久澤麻理子著）

○『大学という場から見た、教育改革』（『朝田教育財団だより』第9号抜刷、2008.8）（阿久澤麻理子著）

○『あまがさき人権まつり08』（イベント資料）（あまがさき人権まつり08実行委員会、2008.11）

○『学校法人大阪朝鮮学園初級学校（幼稚班）・中級学校 案内』（大阪朝鮮学園）

○『学校法人大阪朝鮮学園大阪朝鮮高級学校』（学校案内）（大阪朝鮮学園大阪朝鮮高級学校）

○『階層化日本と教育危機—不平等再生産から意欲格差社会へ』（苅谷

剛彦著、有信堂高文社、2001.7）

○『世界の大学院における人権教育・研究の動向—「人権」学位を授与する大学院プログラム・ダイレクター』（国際人権大学院大学（夜間）の実現をめざす大阪府民会議、2008.6）

○『2009 学園案内 KIS 英語教育 学びのデザイン—「境界をまたぐ越境人」へのパスポート』（コリア国際学園中等部・高等部学園案内）（コリア国際学園）

○『外国人台帳制度に関する懇談会報告書』（総務省、2008.12）

○『すべての子どもたちに「教育への権利」を—多民族共生教育フォーラム2008大阪 資料集』（「多民族共生教育フォーラム2008大阪」実行委員会、2008.11）

○『「部落問題の今」をめぐる若手研究者の国際ワークショップとシンポジウム 報告書』（部落解放・人権研究所、2008.11）（次ページへ）

- 第13回兵庫県連女性部大会・部落解放第48回兵庫県女性集会』資料（部落解放同盟兵庫県連合会、2008.7）
- 『共闘ひょうご 1年のあゆみ 総会資料』（部落解放兵庫県民共闘会議編集発行）
- 『日弁連勧告書を読む「中華学校・朝鮮学校に対する指定寄付金の適用等に係る差別的取扱に関する人権救済申立事件」』（オープン学習会資料）（4.24 阪神教育闘争記念碑を建てる会、2008.11）

### 1月

- 『在日コリアン人権白書 2008年度版』（大阪国際理解教育研究センター、2008.10）
- 『対論 部落問題』（組坂繁之・高山文彦著、平凡社、2008.9）
- 『決定版カムイ伝全集』第二部全12巻（白土三平・岡本鉄二著、小学館、2006.6～12）
- 『被差別部落の大学卒業生の進路と結婚—転換期における追跡聞き取り調査を通して』（竹口等・外川正明・伊藤悦子著、京都部落問題研究資料センター、2008.10）
- 『カムイ伝講義』（田中優子著、小学館、2008.10）
- 『訪韓報告 2008年—外国籍教員の任用（常勤講師）問題の解決に向けて 別冊（資料編）』（兵庫在日外国人協会・兵庫在日韓国朝鮮人教育を考える会、2009.1）
- 『官製ワーキングプア—自治体の非正規雇用と民間委託』（布施哲也著、セツ森書館、2008.7）
- 『「人権教育・啓発法」に基づく計画等に関する調査結果報告書』（部落解放・人権研究所編集発行、2008.12）

### 2月

- 『歴史教科書 在日コリアンの歴史』（「教科書在日コリアンの歴史」作成委員会編、明石書店、2006.2）
- 『国際人権法入門 国連人権NGOの実践から（戸塚悦朗著、明石書

店、2003.5）

- 『絵本もうひとつの日本の歴史』（中尾健次・文／西村繁男・絵、解放出版、2007.10）
- 『訪韓報告 2008年—外国籍教員の任用（常勤講師）問題の解決に向けて』（兵庫在日韓国朝鮮人教育を考える会編、兵庫在日外国人協会、2009.1）
- 『人権歴史マップ 阪神版』（ひょうご部落解放・人権研究所編集発行、2008.12）

### 3月

- 『多民族・多文化共生社会のこれから NGOからの政策提言 2009年改訂版』（移住労働者と連帯する全国ネットワーク編著発行、2009.3）
- 『INTERVIEW「部落出身」12人の今、そしてここから』（解放出版社編集発行、2003.3）
- 『部落史研究からの発信』第1巻（前近代編）（寺木伸明・中尾健次編著、部落解放・人権研究所、2009.3）
- 『平成19年度 民間非営利団体実態調査報告』（内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部、2009.2）
- 『ワルルルさん』（畑中弘子・作／三枝三七子・絵、くもん出版、2008.12）
- 『反貧困—「すべり台社会」からの脱出』（湯浅誠著、岩波書店、2008.4）

### 4月

- 『大阪の子どもたち—子どもの生活白書—2008年度版』（大阪府人権教育研究協議会、2009.3）
- 『人権学習シリーズ入門ガイド 初めてのファシリテーター』（大阪府人権協会編、大阪府人権室、2009.3）
- 『解放新聞兵庫版 第702号～第723号』（解放新聞兵庫支局）
- 『闘いの足跡—結成50年のあゆみ』（部落解放同盟兵庫県連合会編集発行、2009.3）
- 『ポーボキ、友情って、なに色？』（ロニー・アレキサンダー・文／絵、エビック、2009.4）

## 社団法人ひょうご部落解放・人権研究所 2009年度事業計画(抄出)

本年3月28日に、当研究所の第40回定期総会が開催され、2009年度事業計画が承認されました。事業計画より一部を抄出し報告します。

### 2009年度の主な課題

#### 1. 2008年度の成果

(1)2008年度は、2007年度に部落解放同盟兵庫県連合会が実施した「兵庫県被差別部落の就労実態調査アンケート」の結果に基づく『兵庫県被差別部落の就労実態と課題(概要)』の報告が、雑誌『部落解放』8月号(解放出版社)に掲載されました。また、広島県の「部落解放・人権政策の確立を求める広島県民集会実行委員会」主催の『2008 部落解放・人権政策の確立を求める第39回広島県民集会』(9月21日)の第1分科会「差別の実態と解放運動」で報告しました。さらに、『部落解放研究第42回全国集会』(10月3日～5日・於:宮崎市)の第6分科会「市民と行政の協働の視点から同和行政を考える」で報告しました。

(2)猪名川町が初めて行った「人権についての意識調査」の集計と分析を委託され、報告書とともに、この集計結果に基づく「課題と提言」をまとめて報告しました。

(3)「世界人権宣言60周年」の事業として、「やさしいから人なんです展パート20 実行委員会」から委託された、イラストによる『世界人権宣言』のパネルとポケットサイズ冊子・絵葉書を編集、作成しました。パネルは、尼崎、国際交流プラザ、宍粟市などで展示されました。また、冊子は、県外からも注文があり、約3000部を販売しました。

(4)部落解放同盟兵庫県連合会より委託された「人権歴史マップ—阪神版—」を12月に発行し、引き続き「人権歴史マップ—播磨版—」の作成準備を開始しています。

(5)「部落解放研究第29回兵庫県集会」は、1日集会でしたが、約500人が参加し成功裡に終わりました。

(6)昨年再開した「部落解放・人権教育研究推進兵庫県大学連絡会」の行事として、関西学院大学と共催で「対岸の肖像～BURAKUとの架け橋～」のパネル展と、学生による部落問題のトークセッションを行い成功させました。

(7)人権問題講座を2回開催し、一般参加も呼びかけ、参加者は多数ではありませんでしたが、意義ある講座となりました。

(8)会員等を対象にした研究所通信「HB通信」を2回(3～4ヶ月に1回)発行し、機関誌の発行期の間を補強し、研究所の活動を知ってもらうようにしました。

このように研究所の存在感を高め、事業の充実をはかるよう取り組みを行ってきました。

#### 2. 2009年度の事業方針

2009年度は、「研究所の内容の充実と幅広い活動」を目標に、2008年度の継続事業に加え、研究所らしさを発揮できる活動を検討します。また、社団法人等の法律が変わり、新たな認可を受けなければならないため、そのための定款変更や予算編成方法の変更を行い、2009年度中に、認可を得られるよう取り組みます。また、研究所が多くの人達に利用してもらえるよう、あらゆる機会を通じてはたらきかけていきます。

事業方針の主なものは次のとおりです。

(1)機関誌『ひょうご部落解放』を年4回発行し、内容の充実をはかるとともに、新たな研究者の発表の場としても、活用していきます。

(2)すでに、企画を始めている『人権歴史マップー 播磨版ー』の2009年10月発行を目指すとともに、第5版(但馬版か淡路版)の準備をはじめます。

(3)すでに発行した「神戸版」、「丹波版」、「阪神版」によるフィールドワークに対応出来る人材を育成する講座を開催します。

(4)人権問題講座は、昨年同様、年2回開催し、内容も出来るだけ多くの人に参加してもらいやすいように工夫します。

(5)本年度で「部落解放研究兵庫県集会」が30回目になり、より多くの人に参加してもらえるよう内容を充実させるとともに、30回目にふさわしい記念集会となるよう取り組みます。

(6)「人権問題報道関係者懇談会」や「部落解放・人権教育研究推進兵庫県大学連絡会」を継続開催するとともに、内容の充実をはかります。

(7)研究者や学者のネットワーク創りを行うため、「懇談会」などを開催し、研究所との繋がりを深める取り組みを行います。

(8)新たな公募研究の発掘に取り組むとともに、現在の公募研究の成果発表の場として、人権セミナーを開催します。

(9)「HB通信」やホームページを活用して、研究所の存在感を高める取り組みを行います。

### 3. 利用しやすい研究所を目指して

#### 4. 人権関係団体の活動に参加

部落解放同盟兵庫県連合会の定期大会・女性集会・ひょうご解放教育交流集会・荊冠旗開きなど、県連の主催する集会や行事に、今年も積極的に参加します。また、全国部落解放保育研究集会・全国部落解放研究集会・全国部落史研究交流集会にも参加します。

昨年に引き続き、ひょうご解放教育交流集会、兵庫県在日外国人教育研究集会・阪神教育闘争記念碑を建てる会・やさしいから人なんです展・もとまちハートミュージ

アム2010(障がい者関係イベント)などの実行委員会に加わり、求められる役割を果たしていきます。

また、「人権教育ひょうご」の構成団体としての役割を担うとともに、「部落解放兵庫県民共闘会議」の総会や集会にも積極的に参加します。

さらに、「人権啓発協会」が行う、「ひょうご人権ネットワーク」に参加するとともに、人権研修会や人権啓発セミナー等にも積極的に参加します。

一昨年から担っている「生活あんしんステーション HIMEJIー姫路ライフサポートセンター」(連合兵庫・兵庫労福協・連合姫路などで設立)の人権問題の相談窓口の役割を引き続き担います。

## II 調査研究活動

### III 研究会活動

#### 1. 部落解放研究第30回兵庫県集会

昨年の第29回集会は、神戸で1日集会とし、『「世界人権宣言」から60年ー今、見つめなおし問ひかける「人権」とはー』をテーマに成功裡に終えました。

今年は、第30回となり、記念すべき集会となるよう、すでに、1月23日に第1回実行委員会を開催し、具体的な検討を始めています。

第30回研究集会は、10月3日(土)ー4日(日)、城崎で開催します。

#### 2. 人権問題講座

#### 3. 人権セミナー

### IV 啓発・広報活動

### V 出版活動

### VI 事務局体制について

### VII 会員拡大と研究者のネットワーク創り

### VIII 新しい公益法人化めざして

## ♪ 研究所のご近所さん ♪

### 『ふらわあぼえむ』

今回ご紹介するのは、障がいのある方の自立と社会参加を支援するために開店された『カフェ&ベーカリーふらわあぼえむ』。

店内はオープンスペースになっていて、誰でも気軽に立ち寄れる。入り口には見るからにおいしそうなおパンが並んでいる。毎朝6時30分からふたりがかりでパンを焼き、8人がかりで学校や市役所、毎日いろんなところへワゴン販売に出掛けている。ちなみに一押しは、中にとっぴりのカスタードクリームがつまった“ぼえむカスタード♪”(100円)

ふと、反対側に目をやると本棚にはぎっしりと絵本が。



思わず手にとって眺めてしまうようなつかい絵本ばかり。今年2月から“絵本こうかんいちば”がはじまった。

“絵本こうかんいちば”は、その名の通り絵本をもっていくとほ

かの絵本と交換できるということのだけど、ただ単にいらぬ絵本をもっていくわけじゃない。自分が読み終えた大好きな絵本を、次の誰かにつなげるのだ。

これは社会福祉協議会からの委託事業。はじめは263冊だった絵本も、今では320冊に。絵本の数だけ、ふらわあぼえむを通じて、まちのみんながつながっていく。

私もあの絵本を交換しに行こう♪ HB通信をご覧の方で、ぜひ読み終えた大好きな絵本があれば、ふらわあぼえむまでお願いします(>\_<) (ひ)



#### ●メニュー●

ケーキセット	250円
パンセット	300円
十勝あんぱん	125円
レーズンパンズ	75円
などなど	

神戸市長田区久保町5-1-1-017  
アスタくにつか3番館B1F  
TEL & FAX: 078-643-3222  
営業時間: 9:00 ~ 19:00  
定休日: 日曜日



# 第13回統一マダン神戸

一分断の悲しみの涙を 統一の歓喜の涙に！

朝鮮半島の平和と統一を求める世論を地域からつくり出そうとの想いから始まった統一マダン神戸。前進する統一の息吹きを感じながら、在日同胞社会がひとつになれるよう、今年も「統一マダン神戸」を盛大に開催します。日本の市民の皆さん。ともに、統一マダンの広場へ！！



俳優・権海孝（クオン・ヘヒョ）さんの特別トークショー！！

あの《冬のソナタ》の金次長来日！

ステージ出演は、朝鮮・韓国文化の公演と地域の人たちが協力参加する多彩な内容になっています。また、コリアン料理をはじめ、エスニック料理、物品販売など、盛りだくさんの店舗が軒をつらねます。

日時:2009年5月24日(日)午前11:00～午後5:00(ステージ 午後12:00～)

会場:JR新長田駅前広場(ピフレ前)

主催・お問合せ:統一マダン神戸実行委員会 TEL/FAX 078-779-7880

## 「人権教育ひょうご」第12回総会

**\*いっそうの人権の拡張をめざして\***

国連は、1995年から2004年を「人権教育のための国連10年」とし、人権教育の世界的規模での拡がりをめざしてきました。

人権教育ひょうごは、「10年」にひきつづき、いっそうの人権の拡張をめざしてまいりたいと考えております。この兵庫の地で、“普遍的な人権文化の構築”をめざして、ともに行動しましょう！

とき:2009年6月20日(土)

午後2:00開会(午後1:30受付)

ところ:ラッセホール 2階

〒650-0004  
神戸市中央区中山手通 4-10-8

- 神戸市営地下鉄県庁前駅より徒歩5分
- JR、阪神元町駅より徒歩8分



第1部:総会行事

第2部:記念講演

演題「入居差別事件を闘った在日青年の思い」

講師 李俊熙さん

(在日韓国民主統一連合(韓統連)兵庫県本部事務次長)

★主催 人権教育ひょうご

(「人権教育のための国連10年」兵庫県推進連絡会)

《連絡先》

兵庫県教職員組合 教文部 TEL:050-3538-2346

## 第12回平和・人権・環境を考える集い

○日時:2009年6月6日(土)

○場所:宝塚市・ソリオホール

○日程:10:30 開会

10:40～12:40 映画「パッチギ part1」上映

13:00 記念講演

「在日外国人の人権を考える」(仮)

講師 井筒和幸さん(映画監督)

14:00～16:00

各種分科会

①障害者の人権

②宝塚の在日外国人の人権を保障する運動から

③不安定雇用問題を考える

④農問題を考える

○参加費:無料

○お問い合わせ

自治労兵庫県本部

TEL:078-341-1080 FAX:078-341-1090

神戸市中央区北長狭通5-5-22(バラ屋ビル4階)

## \*\* 所長変更のお知らせ \*\*

2009年3月6日に開催された理事会において、大谷強(関西学院大学教授)が新所長に選任されました。安達五男前所長は、引き続き理事として研究所の業務を執行いたします。



大谷 強 所長

## 事務局から

○『冤罪ファイル』という季刊雑誌がある(昨年発行)。冤罪専門の雑誌が出るのは喜ぶべきか憂うべきか。冤罪46年、闘う石川一雄さんを思う。5月23日を前に。(H)

○解放出版社、『部活史研究からの発信』(第1巻:前近代編)を発売す。最新の成果を知るに良し。好著ゆへ一読されんことを勧む。(kama)

○2009年度は、新法人への以降準備と30回目となる部落解放研究集会、新たな歴史を刻む年になり

ます。しっかりと歩みたい。(タケモト)

○県連青年部で活動する青年たちにインタビューをしている。「今つきあっている人に、出自を告げるのがこわい」と目をふせる青年に、言葉がつかまる。『ひょうご部落解放』夏号に掲載予定。(K)

○HB通信も祝4号目☆☆☆これからも“ご近所さん”で色々紹介させていただきますので、情報がありましたらお寄せ下さい♪皆さんに楽しみにしてもらえようなHBをめざします(>\_<) (ひ)